

上川中部リハビリテーション広域支援センター

活動目標

1：長期目標

急性期から回復期、慢性期、維持期まで切れ目ない情報伝達等の流れがスムーズにおこなわれること

2：中期目標（5年計画）

対象者に関する一貫した情報の流れ（在宅、維持期で必要な情報の整理）についてのシステム構築のための基礎作りをする

3：短期目標（1～3年計画）

上記 地域の情報収集および地域課題を抽出するために地域懇談会を開催する
地域連携パスについての情報収集をする

上記 寝たきりにさせない意識と技術向上のため、研修会を開催する

活動

- ・ 総会・理事会（年1回）
- ・ 作業部会（月1回程度）
- ・ 情報伝達手段試行（リハビリテーション手帳）
- ・ 研修会（年1回）
- ・ 相談支援
- ・ 会報発行（年2回）
- ・ リハビリテーションワンポイント講座の発行（会報と同時発行）
- ・ その他（協力病院アンケート調査、代表者会議出席等）

活動の達成度

- ・ 前年度より流れづくり検討部会で検討していたリハビリテーション手帳を、昨年12月より協力病院にて試験運用開始。試行後、手帳運用とそのシステム、手帳以外の形にできる連携の有無などについて検証し、地域で広げられるよう取り組みを進めていきたいと考えている。
- ・ 地域での研修会は開催地区・日時決定（平成22年1月27日）。

活動の問題点

- ・ リハビリテーション手帳については、初めてのことであり、試行錯誤で活動している。運用上では予算確保の問題がある。手帳の運用に当たっては、支援センターの所在地が曖昧なこと、日中に問い合わせ等に対応できる専従者がいないことなど、整理していかなければならない事項がある。
- ・ 広域支援センターの年間予算については、各種協力団体に依存しているが、予算内で取り組めることも限られている。地域での安定した取り組みを行っていく上では、単に支援センターを設置するというだけではなく、行政からのバックアップも含めた予算確保のあり方を見直していく必要があると思われる。
- ・ 今後の方向性をどう進めていくべきか不明。

他の圏域に質問したい事項

- ・ 各支援センターでは、予算確保のあり方についてどのようなスタンスで考えているのか伺いたい。

地域（地域住民）に向けての活動内容

- ・ 対象者を絞った形で、地域懇談会・研修会の開催予定（1月13日現在）

広域支援センター代表者会議の日程について

- ・ まだ結果が出ていない時期での開催で報告できることが限られてしまうため、前年度同様の2月開催。達成度に関わらず、進捗状況報告で有れば、1月でも良い。